

(記載例)

電波防護指針に基づく電界強度確認表（アマチュア用）									作成年月日： 〇〇年 〇〇月 〇〇日					
									氏名： 電波 太郎			コールサイン： J03000		
周波数帯	1.9MHz帯	3.5MHz帯	3.8MHz帯	7 MHz帯	10 MHz帯	14 MHz帯	18 MHz帯	21 MHz帯	24 MHz帯	28 MHz帯	50 MHz帯	145 MHz帯	430 MHz帯	1200 MHz帯
定格電力P[W]	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	50	50	10
給電線損[dB]	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
空中線利得G[dBi]	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
平均電力率	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
俯角減衰量[dB]	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
空中線高[m]	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
空中線地上距離[m]	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
空中線直線距離R[m]	11.18	11.18	11.18	11.18	11.18	11.18	11.18	11.18	11.18	11.18	11.18	11.18	11.18	11.18
空中線の形式	八木型	八木型	八木型	八木型	八木型	八木型	八木型	八木型	八木型	八木型	八木型	八木型	八木型	八木型
俯角[°]	63.43	63.4	63.4	63.4	63.4	63.4	63.4	63.4	63.4	63.4	63.4	63.4	63.4	63.4
最小安全距離[m]	1.00	1.20	1.27	2.37	3.39	4.80	6.07	7.17	8.36	9.93	10.02	4.01	3.35	0.90
強い反射物の有無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
算出電界強度 E[V/m]	24.64	24.64	24.64	24.64	24.64	24.64	24.64	24.64	24.64	24.64	24.64	9.86	9.86	4.41
基準値 [V/m]	275.00	230.49	216.56	116.06	81.18	57.42	45.35	38.41	32.97	27.74	27.50	27.50	32.87	54.91
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

注1 表中の数値は、ダミー値です。緑色のセルにそれぞれ実測値等を入力してください。（その他のセルの数式は変更しないでください。）

また、周波数帯は、適宜追加、削除してください。

注2 E [V/m] は、大地反射係数(76MHz未満は「4」、76MHz以上は「2.56」)を考慮します。また、電波発射源近辺にビル等、強い反射を生じさせる建造物がある場合は、強い反射物の有無欄に「1」を、ない場合は「0」を入力してください。

注3 空中線地上距離 [m] は、空中線を地上に投影した地点から道路、隣家との境界線等までの距離としてください。

空中線が回転する場合は回転を考慮し一番近い距離としてください。また、空中線の高さは実際の空中線高から2mを引いた値としてください。

注4 平均電力率は、電波の型式がA1Aの場合は「0.5」、J3Eの場合は「0.16」、その他の場合は「1」（組み合わせる場合は大きい数値）としてください。

注5 ビームアンテナの場合は、俯角減衰量を考慮することが出来ます。俯角減衰量を考慮した場合は、その根拠となる垂直面指向特性の資料を添付して下さい。また、短縮アンテナを使用する場合は、エレメントの長さ、空中線利得が記載された取説等の当該箇所のコピーを添付して下さい。

基本式： $E = \sqrt{(3770S)}$ [V/m]

但し、S [電力束密度] = $PGK / 40\pi R^2$ [mW/cm²] P=空中線電力[W] G=空中線利得[真値] K=反射係数 R=空中線までの直線距離 [m]